

## 令和元年「市民と議会のわがまちトーク」報告書

開催日時	令和元年8月4日(日) 午後1時30分から3時まで
開催場所	西駅交流センター 3階ホール
テーマ	これからの自治会活動とは？
参加市民	39人
出席議員	<p>担当委員会：市民文教委員会 伊藤清美、伊田悦子、鴨田秋津、谷川眞司、野瀬貴則、眞下隆史</p> <p>サポート委員会：総務消防委員会 肝付隆治、小杉悦子、上野修身、小谷繁雄、高橋秀策、水嶋一明、西村正之</p>

### 内 容

#### 【概要】

議長による開会挨拶、議会報告をした後、グループに分かれてテーマについて意見交換を行い、最後に各グループから意見交換の内容を発表した。

#### 【各グループの意見交換の内容】

##### 1班

担当議員：(委員長) 伊藤清美

参加者数：7人(議員を含む。)

サブテーマ：町内行事への参加が少ない



#### 【出された課題の傾向と主なもの】

- 少子高齢化の増加
- 若者の減少
- 地域行事の運営方法

#### 【検討した課題と意見等の内容】

- 特に周辺部地域に移住・定住を区分することなく、希望する地域に来てほしい。
- 中心市街地と周辺部において、課題がそれぞれあることを認識。共有を図る。

#### 【解決策の案の内容】

各地域アイデア、成功なりを紹介する仕組みづくりを行政サイドに要望する。



## 2班

担当議員：(副委員長) 伊田悦子

参加者数：8人(議員を含む。)

サブテーマ：役員のなり手問題



### 【出された課題の傾向と主なもの】

- 高齢化によるなり手不足
- 若い人は忙しく、時間がない。
- 自治会の行事が多い。
- 会長の仕事が多い。
- 自治会が大所帯
- 自治会が小さい。
- 障害者に対する理解



### 【検討した課題と意見等の内容】

- 若い人のなり手問題
- 町内行事が多いため、本当に何が必要か見直す。
- 行政に対する提出文書を簡略化する。また、行政文書は字が小さい。

### 【解決策の案の内容】

若い人のなり手問題に関しては、舞鶴を離れても帰ってこられるように、仕事の確保、若者に対する政策の充実を図る。また、仕事をしながら自治会長を受けられている方は、市役所が空いている時間に行かなければならないため、有給休暇をとってまで出向かされていることから、仕事に支障がないように負担を軽減するなど、改善の必要があると考える。

## 3班

担当議員：(委員) 眞下隆史

参加者数：8人(議員を含む。)

サブテーマ：町内行事への参加が少ない



### 【出された課題の傾向と主なもの】

- そもそもの高齢化の進行と若者不足
- 個人として興味を持っていない、参加しない(楽しくない。)
- 人と人とのつながりが少なくなっている。

### 【検討した課題と意見等の内容】

- 地域行事そのものの課題
- 地域住民個人の課題
- 人材に係るそのものの課題



### 【解決策の案の内容】

地域の中で頑張る人、リーダーシップをとれる人材を見つけることが必要。そして、しっかり育成することが必要である。

#### 4班

担当議員：(委員) 谷川眞司

参加者数：7人(議員を含む。)

サブテーマ：役員のなり手問題



### 【出された課題の傾向と主なもの】

#### 【検討した課題と意見等の内容】

- 役員をやるとなかなか辞められない。  
(14年間やっている。)
- 自治会長の仕事が大変
- 自治会行事が多すぎる。
- 関心がない人が多い。
- 行政の自治会への依存度が高い。



### 【解決策の案の内容】

本当に必要な自治会活動の内容について精査する。また、自治会は難しいイメージがあるため、好きなことをやってもらい自治会へ引き込むことが必要であるとともに、役員報酬についても上げるべきである。

#### 5班

担当議員：(委員) 野瀬貴則

参加者数：7人(議員を含む。)

サブテーマ：役員のなり手問題



### 【出された課題の傾向と主なもの】

- 役員(会長)の業務が多すぎる。それによる役員(会長)のイメージ悪化。それが負の連鎖となっている。
- 特定の人に役員が集中する。役員を多数兼任させられる。
- 高齢化、少子化、母子家庭の増加で、なり手がいない。
- 役員の決め方が公正でない。(くじ引き、輪番など)

#### 【検討した課題と意見等の内容】

- 役員報酬をアップする。
- 自治会によって人の多い少ないがある。少ない自治会は負担も多く役員報酬も少ない。
- 役員になるメリットが必要
- チーム自治会での運営・活動が大事
- 自治会の合併も必要

### 【解決策の案の内容】

- 行政の補助をもっと欲しい。
- 事務員を共同で雇うなど、事務作業の軽減
- 役員が喜べるような活動にしていく。
- 子どもの郷土愛が育める活動をする。
- 近隣自治会と提携して、行事や活動を行う。



### 6班

担当議員：(委員) 鴨田秋津

参加者数：8人(議員を含む。)

サブテーマ：役員のなり手問題、  
新しい課題への対応



### 【出された課題の傾向と主なもの】

- 若い人のなり手不足
- 役員の決め方に問題がある。
- 行事や会議が多すぎて嫌になる。
- 民生児童委員は女性、自治会役員は男性といった古い慣習が未だに残っている。
- 自主防災、ごみ問題(新しい分別方法)といった新たな課題の対応に苦勞する。

### 【検討した課題と意見等の内容】

- 若い人のなり手不足
  - ・若い役員を育てることが、かえって負担になる現状もある。
  - ・デメリットを考えず、ボランティア精神を(道徳的教育観点)
- 行事や会議が多すぎて嫌になる。
  - ・見直す時期にきている。不要な行事はやめることも大事



### 【解決策の案の内容】

役員のなり手に関しては、定年制や年齢に条件を設けることで、同じ人が何度も役員をせず、若い人にもやってもらえるようになるのではないかという意見が出た。しかしながら、年齢を問わず人口が減少している状況下で、隣接する自治会同士の合併や広域連携を図る組織に移行することも視野に入れた方がよい。行政に対しては、ごみの分別収集の見直しなど新たな取り組みに対しては、丁寧かつ迅速な対応や説明を求めること。また、自治会への補助金の在り方について要望が出た。

### 【意見交換の結果の取り扱い方針】

各班の意見交換会の結果について、委員会で調査・議論を行い、市政への反映に向けて検討していく。